



東進でつかむ春
東進でかなえる夢

 toshin satellite
preparatory school
<http://www.toshinkumagaya.com>

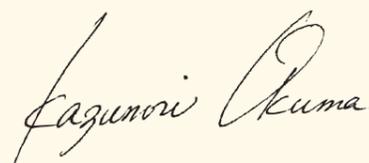
 東進衛星予備校よりごあいさつ

謹啓

早春の候ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧をいただきありがとうございます。大学入試の全ての日程が終了していない時期ではございますが、今年も新年度用の案内書を全高3生にお送りすることに致しました。このような時期ですからこれらの案内書がまったく不要であるという方もいらっしゃると思います。そのような方に対する失礼をどうかお許してください。

当グループは、東進衛星予備校の中で、高卒生部門を認可された数少ない高卒生専門の校舎となっております。また、全国約1000校の中で、合格実績や生徒指導面において、毎年、最優秀賞を受賞している日本屈指の校舎です。予備校選びの際には、是非、東進衛星予備校高卒本科コースをご検討くださいますよう切にお願い申し上げます。

謹白



東進衛星予備校 (株)ケイシン
代表取締役 大熊 一範



新大学入試に3ランク上の大学へ!
最先端 AI を最大活用すれば
共通テストはゼツタイに恐くない!

 **Point1**

予備校界を代表する精鋭大物講師陣



東進では類を見ない大物講師陣で受験生をバックアップ!

東進衛星予備校はより良い授業を求め、他の予備校の看板講師を引き抜いてきました。全国の書店でベストセラーと呼ばれる参考書の7割が東進の講師で占められています。

生徒のアンケート・成績上昇による評価で厳しい生き残りに勝ち抜いた精鋭集団でがっちり受験生をバックアップします。

他予備校の欠点

他の大手予備校の場合、コース授業が始まるまで講師がハッキリしなかったり、無名講師である場合が多く、看板講師の場合は別料金の単科授業であることが多い。

 **Point2**

全ての授業に確認テスト



東進では、授業の理解度を徹底的に高めます。

東進衛星予備校では、全ての授業に10~15分の確認テストをオンラインで運営管理。確認テストで90点以上を取らないと次の授業には進めません。これにより復習を貯める事無く理解を積み重ねると同時に生徒がどこでつまづいているのかを、スタッフが発見・指導が可能になりました。

他予備校の欠点

さらっとノートを見直す程度で次の授業へ。全ての復習を自力で行わなければいけない。テストレベルの復習を自力で継続するのは非常に困難。

 **Point3**

質問システム(担任・電話・インターネット)



本科担当が直接、受験生の質問・疑問に丁寧にお答えいたします。

東進では、授業外でも受験生をサポート!

東進衛星予備校では、授業中の疑問点や学習方法、受験についての質問や相談等をその日に解決できるよう、経験豊富な担任に、随時質問、相談することが出来ます。また、自宅での復習でわからない時等に利用出来るバックアップサービスも利用することが出来、君の質問に対して東大・早慶等一流大学出身スタッフ総勢70名が丁寧に回答してくれます。

東進では、受験に必要な事は全てバックアップ致します!

他予備校の欠点

授業中の質問は、人気講師の授業になればなるほど困難。授業後の質問も講師の都合でなかなか出来ず、そのままに……。疑問点の積み重ねは致命的。

Point4
担任指導（講座決め＋定期面談）



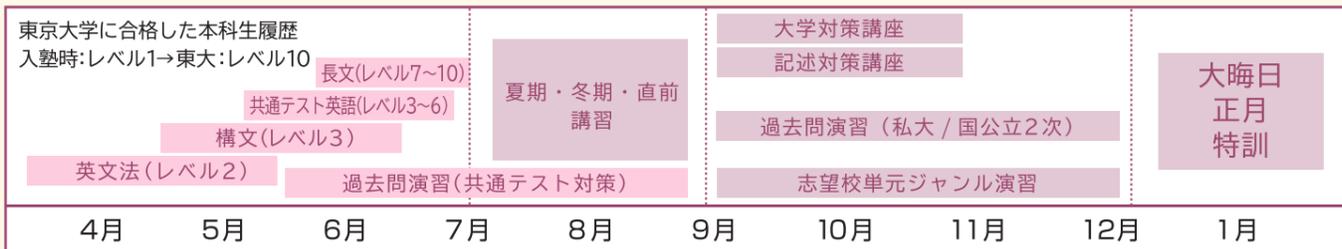
経験豊富なスタッフによるサポート

入学時の講座決定は非常に重要です。過去に1000人以上の講座決定面談を経験した経験豊富な担任が、個々の学力に合った講座選択や学習指導を過去の膨大なデータと照らし合せながらサポートします。また、週に1度、進捗確認・進路相談を行っており、受験生をトータルサポートしております。

他予備校の欠点

大手予備校での担任面談は平均年2回。進捗確認もなく教務力の無い事務員では、受験までのサポートは難しい。

Point5
知識6月完成 → 7月から過去問 → 9月AI活用 → 12月大晦日正月特訓



※標準スケジュール

個々の目標に合せた受講とカリキュラム設定が可能。

東進では教科を増やしたい方の為の講座や苦手教科を多めにし得意教科を少なめにする等、全ての教科を段階的に組み合わせることが可能です。入学時のスタートレベル判定で空回りしないスタートを作り、最短時間で成績向上をねらいます。

他予備校の欠点

他予備校は全教科同じレベルでスタート。得意科目に合せると、苦手科目で空回り。「〇〇塾は難関授業は良い物があるが、超基礎講座はレベルが高すぎる・・・。」

Point6
全寮制予備校並みの勉強時間と集中のできる受講環境



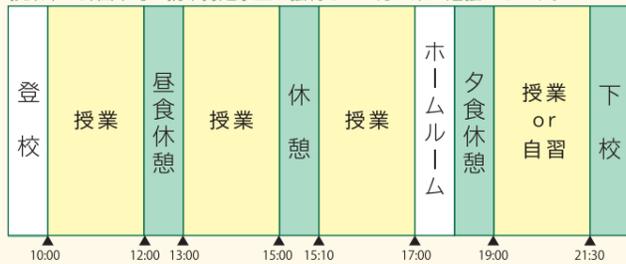
個別の受講ブース



リフレッシュ出来る休憩スペース

全寮制予備校並みの勉強時間

授業中の外出不可・携帯持込禁止 強制された方が楽に勉強できます。



※校舎により異なります。

集中できる専用個別ブース

毎日10時間以上勉強するには、好環境が必要。集中して勉強する為に、全て個別照明・個別受講機器付きの専用個別ブースです。
(気分転換の為月一回の席替え有り) 食事専用スペースも完備。

他予備校の欠点

席が自由な為、直前期・講習期に自習席の確保が難しく、勉強以外の労力を必要とする。教室を利用した自習では仕切りも無く、照明が弱い為集中が出来ない。

授業の受けやすさ

一人一台の専用席で、T-PODによる受講の為、自分で講義の一時停止・巻き戻しが可能。細かい板書も拡大が出来、90分の授業を95分~120分かけて見直しながら受講が出来ます。暗記系には見直しが効果的！

他予備校の欠点

生授業・集団も席次第。後ろの席では板書も見辛く、一時停止が出来ない授業では、リアルタイムで書きながら理解するのが大変・・・。

質と量を兼ね備えた勉強時間

勉強は、質・時間のどちらが欠けてもダメです。東進の誇る最高の講師陣による講座の[質]と、毎日最低10時間の[量]を確保する東進のカリキュラムは、確実に合格へと導いてくれます。

他予備校の欠点

授業時間の最低量が確保されておらず、授業後の自習も自分の意思次第・・・。
〇ゼミのロビー雑談は毎年恒例で、誘惑に負けてしまう人が多数。

東進

新大学入試に3ランクUP合格を実現する！ AIによる最先端の学習システム

1 高速学習

東進なら、今すぐ受験勉強をスタート！通常1年かかる授業も1ヵ月で修了可能。もちろん、第1講から受けられます。だから、短期間でぐんと力が伸ばせます。

夏から志望校対策をスタート！

どんだん進めてスタート！

5月までに苦手教科を一気に克服！

週何回でも受けられる！

東進の高速学習 1ヵ月

1年分を1ヶ月に凝縮！

従来の予備校 週1の授業だと1年

2 実力講師陣

わかりやすく、面白い。東進の実力講師陣の授業なら、苦手分野もみるみるわかる。さらに、知的な好奇心を刺激するハイレベル講座で、得意科目をさらなる武器に！

3 自分にピッタリのレベル！

12レベルから選べるから、自分の現在の学力・志望校に合った授業が受けられます。

自分に合ったレベルから着実に進む！

科目別
スモールステップ
カリキュラム
東進は12レベル！

目標に到達！

急すぎて登れないよ

基礎 応用 難関 実戦対策

従来の予備校だと

4 頼れる担任

一年でどのくらい伸ばせるのだろう？何をいつまでに仕上げればいいのか？勉強や志望校について…気になることは、何でも東進の担任に相談してください。

5 ライバル仲間と高めあう

一人で勉強していると、集中力が続かない……そんなことはありませんか？仲間と一緒に競い合い、高め合う環境が東進にはあります。

学習状況 夢 進路 悩み相談

ランキング

6 出席管理とホームルーム

朝の登校チェック。夜の点呼で朝から夜まで厳しいが規則正しい時間割運営。1年間、勉強に専念できます。

※イメージです。

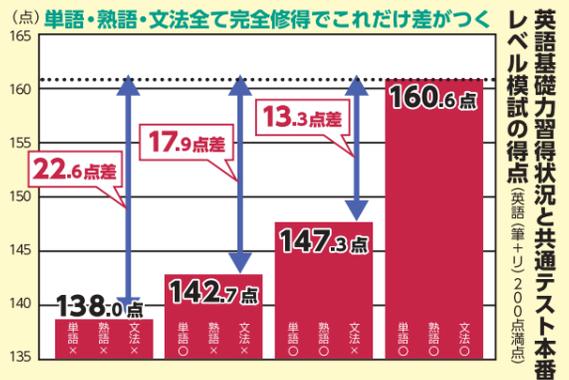
column 共通テスト対策は「何から始めればいいんだろう？」そんな君は、まず3月・4月のうちに英語基礎力を！

今年の共通テストの問題を受けてみて、いろいろな課題が見つかったけれど、何から始めればいいんだろう……？そんな君は、まず今のうちに英語基礎力を身につけよう。

右のグラフは、3ヵ月間で一気に英語基礎力をどれだけマスターしたかで共通テスト本番レベル模試の点数がどれだけ変わるかを調べたもの。英語基礎力をマスターすれば一気に8割が突破できることがわかる。3月・4月から始めて5月までに一気に英文法までマスターしておけば、共通テストで8割が見えてくる。

さらに、4月・5月になってから基礎を固める受験生に比べ、国公立二次試験・私立入試対策に時間をかけることができる。

英語・数学・国語といった主要科目の早期完成をひとつめの中間目標として、浪人生活を本格スタートさせよう。



① コース別学費（講習含まず）

※金額はすべて税込み表示です。

区分	コース名※1	授業種類	入学金	担任費	模試費	授業料
国 公 立	東大、京大文系コース	15講座	165,000円 ※2	77,000円 ※3	29,700円 ※4	550,000円
	旧帝レベル国公立文系コース	15講座				550,000円
	上位国公立文系コース	15講座				550,000円
	東大、京大理系コース	15講座				550,000円
	旧帝レベル国公立理系コース	15講座				550,000円
	上位国公立理系コース	15講座				550,000円
	国公立大医学部コース	15講座				550,000円
私 立	早慶上智文系コース	15講座				550,000円
	難関私立大文系コース	15講座				550,000円
	上位私立大文系コース	15講座				550,000円
	早慶理系コース	15講座				550,000円
	難関私立大理系コース	15講座				550,000円
	上位私立大理系コース	15講座				550,000円
	私立大医歯薬コース	15講座				550,000円

※1 入学面談にて、コースを決定していきます。

※2 入学金免除証をお持ちの方は、3月31日までに手続きされた場合、入学金が55,000円(税込)割引されます。

※3 週間面談や三者面談など、生徒指導に関わる年間指導費です。

※4 年間模試料

② 奨学生制度

奨学生制度がございます。詳しくは当校までお問い合わせ下さい。

③ 分割納入について

東進衛星予備校では、学費等の便利な分割納入もお受けいたしております。

お支払いに関しましては、下記をご参照下さい。※初回お支払いは4月末となります。

分割ローン 一覧表	10回	8回	6回	3回
最終申込日	4月27日	6月27日	8月27日	11月27日
手数料率	3.5%	3.2%	2.98%	1.8%

詳しい資料請求

① ホームページからの資料請求

「東進 熊谷」で検索の上、お問い合わせ下さい。

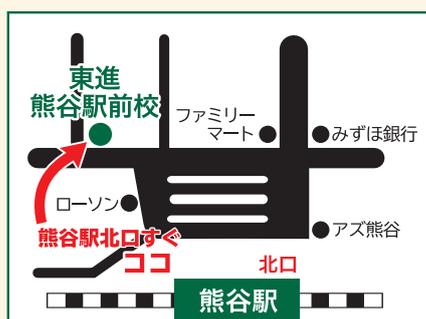
② 電話またはFAXでの資料請求は各校舎までお願いします。

(※FAXの方は氏名・出身校・住所・電話番号を記載の上送信して下さい。)

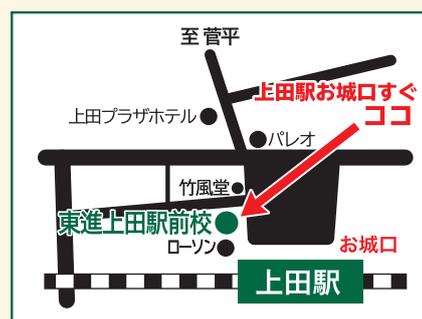
熊谷駅前校 (TEL/FAX 048-501-7035) 上田校 (TEL/FAX 0268-75-0425)

③ 校舎へ直接お越し頂く場合

下記の校舎までお越し下さい。3月は大変混み合いますので、説明・体験授業をご希望の際は、事前に電話予約をお勧めします。



熊谷駅前校 TEL 048-501-7035



上田校 TEL 0268-75-0425

合格体験記

野球漬けの高校生活から 1年でセンター198点へ！

早稲田 立教 法政 合格

3科目で223点→431点にUP 森下 晃熙



2月下旬、森下の受験は終わった。全て不合格、当たり前の結果であった。野球部で練習、試合の日々に明け暮れ、勉強ができる時間はほとんどなかった。引退してから勉強を開始したが、単語は覚えられず、日本史は江戸時代で勉強がとまってしまった。森下の夢は学校の先生やで働くかで将来はまだ漠然としていたがはっきりした目標は早稲田大学に進学することだった。小学校の時から野球をやっていたので、TVで甲子園や6大学野球を見ていたときに、特に早稲田大学の選手がかっこよく見えたという。今度こそは絶対合格する！森下の意志は一度失敗しても消えることはなかった。彼の予備校選びは高校生の時に持っていた参考書のほとんどが東進の講師が書いた本で身近に感じたことからすぐ東進に決めた。

4月から受講を開始。どの科目も基礎講座からスタート。文法講座を終え構文講座へ進むと森下の英語の世界観がガラリと変わった。「今まで単語と熟語をつなぎ合わせて読んでいた自分が恥ずかしくなりました。この授業で英文の構造理解ができるようになり、正確な意味をつかめました。」森下は構文の授業をさらに進め、復習も徹底、どんどん読めるようになることが勉強を楽しみさせた。その結果が6月の模試であらわれる。4月で102点だった英語が154点、一気に52点も上げた。現代文も授業で論理的な思考が身に付き、100点満点中83点を記録。

しかし森下は「この6月の模試で成果は出たのは良かったのですが、昼ごはんと一緒に食べているYくんに国語、日本史は負けて合計得点でも負けて悔しかった。」と面談時に語った。ここから勉強時間はさらに増えるものの成績は8月の模試で英語を下げ、国語は146点と微増、日本史は70点を突破した程度の結果になる。

ある日の面談「英語がだいぶ下がったけど原因は？」と担任が森下に関かけると「4～6の図表問題やイラスト、長文の失点が多いです。時間が足りず、字面を追っているだけというか…。焦って内容が入らなくて。」と答える。「じゃあその原因はなんだと思う？」と再度、森下に関う。担任はある程度その原因は分かったがあえて自分から答えない。考える時間を与える。「…音読ですか？」と森下。担任は頷く。「構文に意識が集中しすぎて左から右の読んでいく直読直解の意識が薄れて、スピードも遅くなったんだと思います。きれいな正確な訳を求め過ぎて時間の意識も欠如してました。」と続けた。担任と考えた解決策は今までの構文や長文のテキストを1日2時間音読、それと併行で今受講中のハイレベルの長文の音読もすることだ。その日から音読を開始。音読をしすぎて声がかすれ喉を痛めた日があったが、それでも続け10月の終わりの模試で英語は198点、時間も10分以上余って見直しもできた。

11月、早稲田の過去問演習講座を9月から2学部を10年分解ききった状態ではあったがもう1周する計画を立てた。正答率を担任と分析すると英語はいつも合格点をオーバーしていたが日本史が合格点に届かず、過去問演習講座の解説授業と早慶日本史演習のダブル受講で落としてはいけない問題、差がつく問題の攻略、知識の定着に努めた。また立教、法政も過去問を解いていき、分からない部分は担任に聞いて解決をした。センター1週間前までは早稲田、立教、法政対策でグッチリ詰め込み、センターにはそこまで重点は置かず、試験終了当日にすぐ私大対策に切り替えた。小学校の時から夢だった早稲田の学生にもう少しでなれる、その想いが勉強の原動力だった。

結果、早稲田、立教、法政合格「夢がなんとか叶いました。夢の続きなんですけど勉強してて英語の先生になりたいと思います。あと野球部の顧問です」と森下は目を輝かせながら未来を語った。

英語19%→96% 驚異の77%UP

法政大学文学部合格

英語が38点→192点にUP 大熊 泰輔



「スタートが遅かったです。自分が校舎で勉強していると、高校1年生からきている生徒さんをみて自分遅かったなー、と心の中でずっと思っていました。」もう一回先生面御見てください。よろしく願います！」大熊の一度目の受験が終わった時の言葉。3年の夏に東進に通うも半年弱の期間で勉強したが結果は不合格。もう一度、東進で勉強することになった。大熊は予備校選びは全く迷わなかったという。「担任が一生懸命面御してくれたのでここがベスト、他の予備校は探さず、すぐ手続きました。」3月、寒さがまだ残る中、大熊は勉強を再開した。本来、量に勝る勉強はないかもしれない。基本は高速マスターだ。「1週間で3000。朝～夜まで校舎にいれば絶対終わるから大丈夫だよ。」と担任。「ホントですか？3000はちょっとすかさず「今いる1、2年生はほぼ終わってるよ」と返す。「負けたくないんでやります！」担任は、負けず嫌いの彼の性格を分かっていたのであえて厳しい目標を設定する。毎日朝9:30～22:00まで。小学校時代から高校までサッカーをやっていたため、体力と根性には少なからず自信がある。そんな要因もあってか大熊は3000コの単語は5日、熟語も2日で終えた。4月中に高校入門レベルの文法を修了、C組という入試頻出英文法の授業をも4月中に終わらせた。

5月から英語は長文講座へ。担任の理想通り、大熊の理想通りに勉強が進む。長文は受講したあと、音読を10回してから次の講に進んだ。どんどん読み込むうちに語彙が定着、また読解のスピードが劇的に変わった。午前中は英語の受講と音読室での音読。担任作成の毎日の単語テストは1～2問ミスするくらいで満点もどんどん記録するようになっていく。基本動作の繰り返し。大熊は担任が言ったことを全て実践していった。

英語は4月93点、6月110点、8月143点。8月の時点で、現役時の38点から110点以上UPさせた。「模試で70%は今まで一回もとったことないです。中学校でもなかったかな…。勉強で成果が上がったこと自体が、いままであまりなかったの。ホント嬉しいです！」大熊のやる気はさらにヒートアップする。9月、英語のテキストの音読はずっと徹底していたが、現代文や日本史も受講後音読をするようになる。模試の現代文の点数は4月48点、6月64点、8月48点と7割に届かない成績。模試返却の時の失点分析では現代文の読むスピードが遅いということ、読んでも文章が頭に入らないケースもあるということから、まず授業で習った現代文の文章をしっかりと声に出して読む、またこれから受講する現代文も必ず音読、そして文章理解に努める。英語と同じ勉強法を国語でも実践する。さらに日本史も。追加申込をした志望校対策の講座も受講後、必ず音読、高速マスター講座にある長文速読トレーニングも毎日解いた後、音読…。センター当日の結果は英語189点、国語現代文78点、古文37点、日本史90点。英語はいままで192点が模試でベストだったがプレッシャーに打ち勝ち、それに近い点数は叩き出した。

2月、大熊は校舎に法政大学の文学部英文科に合格したことを伝えるために登校した。そして他にも報告があるという。「先生、将来は塾や学校で英語を教える先生になりたいと思っています。点数が悪い生徒の気持ちほめちゃくちゃ分かるんで、先生になってそういう子達を教えたいいなあって。」春からは、法政大学のキャンパスで、その夢を追いかけていこう。

スモールステップで物理を一から勉強。

電気通信大 法政 合格！

増井 洋平



「受かりましたよ。」

いつもクールであり感情を表に出さない増井が、少しだけ興奮していた。電気通信大学合格！それが興奮の理由だった。

情報通信に関連した仕事につきたい。それが増井の当初からの目標だった。その目標を達成すべく、まだ寒さの残る去年3月、増井は東進衛星予備校前橋駅前校の門を叩いた。

「あまり、まよわなかったです。」増井は語る。「担任がしっかり指導してくれる予備校だというのが大きかったです。」「経済的な面や勉強時間の確保をかんがえろと、家から近い、のは合格の絶対条件と思いました。」群馬県内にはいくつかある予備校の中で東進の前橋駅前校を選んだ理由を聞くと増井はそう答えた。

ただ、そこにはもうひとつ理由があった。それは他の予備校と違い自分にあった授業を選ぶ点だった。「自分で講座を選ぶ事と、自分の理解に応じて進められる点にははずせなかったです。」実は増井は情報通信学部を希望しているにもかかわらず、現役時は理科が生物選択だったのだ。生物で一定の点数は取れつつも、何か違うと感じていた。「生物はやっていて面白くない。何か違う。物理を一からやりたいと思って。入学面談のとき東進なら大丈夫と言われて、これだ！と思いました。」

そう考えた増井は東進の本科生として物理を一から勉強することに決めた。それが出来たのも自分で講座を自由に選べる東進の仕組みがあってこそ、だった。他の予備校ではコースが決まっていてなかなか自分にあったカリキュラムが組めない。自分で見つけた場所で、自分で道を切り開く。増井らしい考え方だった。

校舎では朝、夕のHRがあるから、自分のペースを維持しつつ、一日のスケジュール管理がしっかりできる。担任との面談で、時間割を決めて、納得のいくまで受講する。疑問点は遠慮なく、担任にぶつけた。どんな疑問点、質問も聞いて、答えてくれる、担任の存在は大きかった。

彼が続けられた理由がもうひとつあった。増井に聞いてみた。「やっぱり一緒に勉強した本科の友人たちと勉強法をアドバイスしてくれた先生のおかげです。」一人だと心が折れそうになる受験勉強、増井は一人ではなかった。いつも共に勉強に励む友人たちとそれをサポートする担任、そしてそれを見守ってくれる両親の存在が大きかったと増井は言う。

いつも開校時間ぎりぎりいっぱいまで友人と勉強をし続けた増井。受験という高い壁を乗り越えただけでなく、人間としてもこの一年間で大きく成長したに違いない。

大学合格をはたした増井に次の目標を聞いてみた。「いやーまだわかんないですよ。とりあえず学校の授業をきちんと聞いて単位落とさないことかな。」相変わらずクールに語る増井だったが、その表情にはこの一年で得た、確かな自信と充実感があふれていた。

英・数・化の3科目でセンター95%達成！

慶應(薬) 北里(薬)合格

センター試験結果 英語195 数IA97 数IIB92 化学95 佐々木 廣大



1回目の受験は全敗。2月に浪人が決定した。大学受験を振り返る・・・。

高校2年の秋に東進に入学した。どの授業も知的感動の連続でつまづいていた数学、化学の成績は半年でセンターレベル80%を超えた。しかしセンター一番番で頭が真っ白になり70%弱に終わる。そのままズルズル引きずり私大入試も失敗。一番の弱さを痛感する。部活をやっていたことや勉強への取り組みにムラがあったことにも後悔した。

予備校探しをしないといけないと心では思うもなかなか動けない。西武線で池袋に行くには1時間半かかる。電車は混雑して勉強はできない。時間ももったいない。いつもの予備校のHPを見るもここがイイ！と思うものはなかった。

ある日、佐々木が通っていた東進のHPを見る。体験記が掲載されていたので読んでみると東進でもう一年過ごすのは意外とありがたそうと考えはじめた。他の予備校に比べて圧倒的に授業がいいことと2月からでもスタートできることが魅力的に思えた。

数日悩むも、佐々木は2月下旬には東進でスタートを切ることになった。

元々通っていたので何をすべきかは明確であった。来る日も来る日も受講+高速マスター。現役時に完璧には徹底できなかった『テキストの復習』を十周繰り返した。「同じ問題を解きなおすことで基本フォームが作られ、それが別の問題を解くときにも役に立つ。」と担任にアドバイスされたのでひたすら量をこなした。

センター過去問演習は6月から始め『全科目10年×2回+大問別特訓』を8月中に終えることが出来た。その段階で正答率90%を記録した。

秋冬、志望校対策講座の受講、そして慶應大学の過去問に取り組む。合格最低点ギリギリの点数を1回目に出せた。北里に関しては8割とれた。

いつの間にか佐々木の机にはボロボロになった赤本と青チャート・東進のテキストが積みあがっていた。間違えた問題はそれを解きなおすだけではなく似た問題を赤本・チャートから探し徹底的に解きなおす。佐々木に分からない問題、できない問題はほとんどなくなっていった・・・。

今、佐々木は慶應大学薬学部に通っている。そして過ごしていた東進でアルバイトをしている。「数学と物理の質問はやっぱり多いです。自分は化学選択だったんで物理はちょっと自信はないんですけど。生徒に教えられるように物理を勉強しています。あと質問に答えるだけでは成績は上がらないので合格する勉強法・伸びる勉強法も日々伝えています。」佐々木を慕っている生徒は多い・・・。



授業後の数学・物理の質問対応の様子

合格体験記

現役時 53.7%→1年後 91.8%、驚異の 38.1%UP を記録。

東京学芸 早稲田 立教 明治 全勝

5教科7科目 484点→827点にUP 大木 智弘



3年生の3月、大木の受験は終わった。結果は全滅。高校3年間、野球や学校行事に時間を取られ、勉強に一生懸命打ち込むことができなかった。大木の志望校は東京学芸。夢は数学を面白く教える先生になること。これを達成するにはまず5教科7科目で200点上げなければならない。**偏差値でいうと20のひらきだ。**一般的に浪人生が1年間で上がる点数は50点といわれ、200点upは不可能に近い。しかし東進であれば高速学習ができるため1年間の授業を1カ月で終えることもできる。つまり**成績が劇的に上がる学習の仕方が完璧にそろっているのだ**。しかも他の予備校は5月から本格的に授業が始まるが、東進なら入塾してからすぐ勉強を始めることができる。大木は3月中旬、東進で浪人生活をスタートした。大木は英語が苦手な単語をほとんど覚えていなかった。担任は「英語はまず単語を頭に入れる。1000より2000、2000より3000。数が多ければ多いほど力はつく。それも短期間に一気に！」東進ではどんなに暗記が苦手な生徒でも3日~1週間で2000語詰め込む高速マスター講座がある。大木は入塾してすぐに取り組んだ。センター1800は2日、熟読750は3日。驚異的なスピードでこなす。担任の英単語テストも3月中に50点中の46点を記録。大木は3月中にセンターレベルの英単語、熟語を一気に覚えてしまった。英文法の授業、構文の授業も4月のセンター模試までに終えた。現役時のセンターは83点であったが、4月の模試で132点。スタートの1ヶ月で**50点近く上げた**。担任と大木で立てた計画通りの学習量と成績up。面談時に少しだけニコリしたが、「5月はどのように5教科7科目やっていた方がいいですか?」「二次試験で使う数ⅢCをどういうスケジュールでやればいいですか?」とすぐ切り替えた。大木はきわめてストイックだ。油断という言葉が彼にはまったくくない。5月のGWから毎週水曜日は、センター過去問演習講座で英語と数学、国語の3教科に取り組む。英語は回を重ねることに**140、160、170点を記録**、数ⅠAも**80点を突破**。しかしⅡBと現代文が不安定。ある日の面談で「数ⅡBは計算量が多すぎることと、特に空間ベクトルは計算も敷しいけど図形の作図がめっちゃくちゃになって…」と大木。今までにない深刻な表情だった。その日の面談は長時間続いた。担任と大木で考えた勉強法は数学ⅡBは毎日解く、特にベクトルはそれとは別に朝と夜に大問別で解く。現代文は読み方、解き方がバラバラになっていたのでセンター現代文を受講、その後過去問を解くという学習に変更した。効果はなかなか出なかったが、実のところ、大木も担任も確実に手ごたえを感じていた。そして、9月の終わりには、過去問で数学ⅡB、現代文が**8割を安定してとれるようになっていた**。

10月、いよいよ過去問演習にはいる。日曜に国立二次の記述型答案練習講座、木曜に早稲田の過去問演習講座を解く。早稲田の数学は大木にとって相性がよくない問題が出題され合格点に届かないこともあった。そんなときこそ、解説授業をしっかりと受けて、過去問の解き直しを徹底的にやった。大木は1年の全てを勉強に費やした。毎日、朝から夜まで。正月も校舎で勉強。リズムを崩すことはなかった。結果、**東京学芸、早稲田、立教、明治合格**。それは、担任と二人三脚でつかんだ**人生の勲章**ともいえる。大木は今、志望大学に合格するという中間目標を達成した。これから数学の先生になるために、数学の楽しさを追究するために、大学でもストイックに勉強に打ち込むだろう。

5教科7科目 589点→758点にUP

早稲田大学 教育学部 合格！

千葉大学・立教大学・学習院大学・中央大学オール合格

オール不合格から全勝へ。栄光の軌跡。

田谷 諒介



高校時代、受験生としての自覚、大学で何を学びその為は何をするべきか…、という目的意識が欠けていた田谷。なんとなく国立に行ければいいと考え、地元の国立大学も、滑り止めにしてはいたはずの私立大学もオール不合格。当然といえば当然の結果だった。浪人した以上、考え方を改め、高校入試の成功体験や固定概念に囚われることのないようにしていきたい、と4月、東進での浪人生活に入る。田谷は、もともとあまり欲がなく、そのため大学についても知識がない。国立で近隣の大学に行ければいいと考えていた。だから、勉強にもうちこめない。これでは浪人しても同じ結果になる。4月初旬、担任は、意を決し、彼の意識をもっと上に向けさせること、から始めることにした。『やればできる！君は自分の力をまだわかっていないだけだよ。』『キミなら高みを目指せるよ！高みを目指すなら早稲田を目指してみようよ！』田谷の潜在能力を開花させること。欲がないようにみえる生徒だけど、希望が見えればきっと欲がでてくるはず、と、この1年、『光と情熱を注ぎこむ向日葵のような存在になろう』と自らを奮い立たせる。田谷は、面談で、これからやるべきこと、それができれば早稲田に合格できること、を伝えられる。その内容は、慎重な田谷でも、十分に納得できるものだった。田谷は、徐々に興味を持ち、いろいろな大学を調べ直す。そして自ら、『早稲田』という大学に興味を持ち始める。それは最高峰という存在に自分が叶うかもしれないという希望の芽だった。『先生、届くかわからないけど、早稲田やってみようと思います。』、彼が初めてその意欲を、言葉に出した。目標とそれに至る道筋が見えてくると、行動も早い。それが希望というものだ。GWが目前に迫った4月下旬…、田谷は行動に移す。東進の授業は予備校界一、わかりやすく、受けていて楽しい授業である。受験勉強が楽しくできるのは東進ならではの、といってもいい。受ける授業、受ける授業はすべて納得できるものだった。4月下旬から5月末まで、基礎講座を受けまくる。成果はすぐに出る。**6月のセンター模試では英語が50点UPの172点**。4割にも届かなかった数学も**6割台後半**と、驚異的な伸びだった。結果が出ると行動に拍車がかかる、6月~7月初旬、基礎講座だけでなく、応用講座、そしていよいよ入試レベルの講座にも到達。予定していた講座を驚異的なスピードでこなす。8月からは、センター試験過去問演習講座も開始。センター試験の問題12分分すべての教科を終わらせ、9月以降は、東進で行われた過去のセンター類題問題もこなした。10月から、千葉大学の過去問演習・早稲田大学の過去問演習。過去問は3回やれ、担任から言われたアドバイスを忠実に実行した。いつしか、田谷は、年度と問題内容、が再現できるほどに、**過去問の意図までも、そして傾向の変化をも恐いくらいに暗記してしまっていた**。

第一志望、早稲田大学教育学部合格。 千葉大学理学部、立教大学・学習院大学・中央大学等オール合格。

全滅から、全勝へ。この1年で自分の限界が大きく広がったのだ。『東進にしてよかった…。』あらためて感謝の気持ちを伝える田谷の表情は希望の芽が開花したように映っていた。

先輩たちの合格体験から、君に合った東進の1年を見つけよう！

まずは、経験豊富な担任に相談してください！

東進でつかんだ春！東進でかなえた夢！

東進を選んだ先輩たちの合格体験から、3ランク上の大学を君の手に！！



岡 崇文

中央大学を蹴って浪人。東進本科コースで慶應義塾・早稲田・上智・横浜国立・立教を全勝！
岡は一度目の受験で中央大学を合格するも、何か釈然としなかった。高3の夏まで部活を続け、本格的に受験勉強に取り組んだのはそれ以降。もしもっと勉強時間がとれていたら結果は違っていたはずだ。自分はずっとできたはずだ…と、それが理由だった。そして再受験を決意し、多くの選択肢の中から予備校は東進に。「浪人するなら、現役と同じようなラインを思い描いてたらダメなんです。もっと早く、もっと高いレベルで完成しないと。だから自分は高速学習のできる東進を選んだんです。」こうして岡の浪人生活は東進でスタート。最初の面談で「力がそれだけあるなら、まずこの1ヶ月で3講座を確実にこなせ。スピードが勝負！」と言われた時、この人についていけば大丈夫だと岡は確信した。そして担任との二人三脚が始まる。計画通り順調に成績を伸ばし8月のセンター試験本番レベル模試では達成率90%を突破した。だが、全てが順調だったわけではない。続く回では生物で失点。達成率を落とす。同月の記述模試では数学の達成率が5割。点数が安定しない。その後、岡と担任はお互いの考えをぶつけないが面談を繰り返す。10月、本格的な記述・過去問対策に入った。過去問は担任からの薦めもあり、夏から少しずつ目を通していたが、慶應義塾・早稲田の過去問は実際に時間を計って取り組むと非常に敷かった。担任からは10年分を5回以上繰り返せと言われている。さらに弱いと思う部分は積極的に志望校対策講座を申し込んでカバーした。もう岡に死角はなかった。そして一年間で確実に身に付けた実力が早慶上智トリプル合格という結果をもたらした。**■合格校：慶應義塾大学（経済）、早稲田大学（商）、上智大学（経済）、横浜国立大学（経営）、立教大学（経営）**

なんとなくできるからセンター9割超えの確かな実力へ。早稲田、中央、立教全勝！

現役で何とかなるだろうと挑んだ大学受験、滑り止めの中堅私立まで含め、高校のクラスの中で現役で合格していった友人が東進に通っていたことを思いだし、3月、高卒本科に入学する。高卒本科では夏休みからセンターの過去問演習に入るため、1学期に夏期講習を含めてすべてのカリキュラムを終えなければならない。田中はこれを全面的に利用した。とくに4月のスタートダッシュが効き、通常の予備校では数カ月かかる基礎を2か月で完全修了した。高速基礎マスターも学部別英単語という高度なレベルまで完全修得。8月の時点で英語、数学、物理は8割、苦手な化学も6割に到達し、秋からは志望校対策に進む。MARCHレベルの問題をこなし、早稲田の過去問演習へ。12月のセンター模試では英語、数学9割、物理、化学8割と合格ラインを超える。それでも直前期の不安は担任との学習面談を週平均2回に増やすことで解消できた。現役全敗から、1年で早稲田(教育)、立教(理)、中央(理工)、…と全勝。数学の腿脚味を広く伝えたいと語る田中の笑顔にはやりきった自分に対する満足感が投影されていた。**■合格校：早稲田大学（教）、中央大学（理工）、立教大学（理）、東海大学（理）**



田中 雄祐

東進本科コースで得るべくして得た東京大学理科1類合格！

「実は他予備校に行こうと思っていたんですよ。奨学生の試験も受けて、その結果がでる前日でした、東進からのダイレクトメールが届いたのは。」宇治川は地元出身だが、東進が地元にあることを知らなかったという。「あと一日手紙が届くのが遅かったら普通に他予備校で入学手続きをしていたと思います。」と、東進とは運命的な出会いだったことを語ってくれた宇治川。その日のうちに資料を請求し、翌日には来校。本科担当と話をし、体験授業を受講。「東進は他のコース制の予備校と違って自分で受ける授業が選べるし、そのどれもが引き抜きで集めてきた最高の先生のもの。」こうして宇治川の浪人生活は東進で始まった。宇治川は自宅受講のシステムを使い登校までに講義を一つ終わらせてくる。「本気で勉強に打ち込みたいと思っていた自分にとって、東進の高速学習は最高でした。8月末のセンター試験本番レベル模試では900点満点中820点を記録。センター試験レベルに関しては学力を維持する勉強へと移行、授業も9月までほぼ全ての予定をこなした。そして秋、いよいよ本格的な記述・過去問対策に入る。計画通りだ。過去問は夏から少しずつ取り組んでいたが、担任からの勧めで過去問演習講座を申し込み、10年分を徹底的にやった。「過去問演習講座は最高でした。時間を計って大量にやり込み、きちんと採点してもらう。さらに解説授業を受けたことで合格を確実に掴めたと思うんです。」宇治川。東大模試で相対的に達成率が低い国語・物理・化学は答案練習講座でひたすら記述の練習をした。やり残したことは一つとしてなかった。そして得るべくして得た東大合格。**■合格校：東京大学（理科1類）**

東進本科コースだからできた…志望大学2ランクアップ。慶應義塾大学 薬学部 合格！！

早いスタートが合否を決める。常に言われていたその言葉を胸に、内田は2月21日、目標を来年の受験に定め新たにスタートを切った。本科コース生第一号。志望は薬学部、明治薬科大。この際なので特待生合格をねらった。夢の実現も合格も、それをどれくらい強く思えるかで決まるのだ。高卒本科コースは15講座が基本。基礎事項の復習からスタートして、実戦問題の内容をマスターする講座まで、高速学習でどんどんこなせる。内田はすべての教科において、知識の直直しからスタートした。英語は文法から、数学・化学は単元ごとに抜け落ちている部分をひたすら埋めていく。一番苦手とする英語はそれに加え、毎朝の音読と高速基礎マスターを併用した。この継続が、英語の飛躍的な伸びをもたらし、夏前に得点率8割にのぼる。「最初は英語が嫌いで仕方なかったんですけど、渡辺先生と安河内先生の授業のおかげですね！英語アレルギー無くなりましたもん！」と内田。同月には志望校のランクアップを決心した。夏にはすべての教科で実戦問題を意識した講座をスタートした。そして秋には本格的な過去問演習に突入。合格計画はほぼ順調である。壁にぶつかっても何度あったが、序盤の基礎固めが万全だったため、解決策はすぐに見つかる程度のものであった。志望校対策講座も積極的にこなし、準備は万全。過去問・模試の復習は勿論のこと、本科コースで行っていた小テストまでも完璧に復習をこなしていた。結果、見事、第一志望校・慶應義塾大学薬学部薬学科合格。**■合格校：慶應義塾大学（薬学部）・明治薬科大学（薬学）、昭和大学（薬学部）特待生合格・東京薬科大学（薬学部）**



内田 奈々子

東進本科コースで立教・青山学院・学習院・成城を全勝！

高井が東進に入学したのは実は高校2年の夏。「お姉ちゃんが安河内先生の授業を受けていたんです。それで東進がいいよって聞いていて。授業を受けてみて感動しました。」それから部活をこなしつつ、学習を進めていた高井。しかし、一度目の受験は全敗。現実というものの厳しさを知った。高井が人生で初めて味わった、大きな挫折だった。浪人をするにあたって高井が真っ先に考えたのが、東進での勉強を継続すること。本科コースのスタイルはハイブリッド型。個別授業を中心としたカリキュラムを組みながら、一方で仲間と切磋琢磨する本科 Navigation 英語という集団授業、ホームルームを取り入れた指導をしている。「いつも夕方のホームルームの後、日本史の一回一答をやっていたんですよ。同じ日本史選択の仲間と。」彼女の成績アップの原因の一つに、仲間との時間があったのは間違いない。英語は前年度からの続きとして、ハイレベルな文法からスタート。ほんの一ヶ月でこなし、次へ。模試の成績も順調だ。が、どうしても力が安定しないのが現代文。「練習と経験を積みことがどれだけ大切か、随分語りましたね…」と担任。担任について高井はこう語る。「私の質問に対していつも真剣に答えを探してくれました。だから、聞けば何でも良い方向に導いてくれると思えたんです。」順調に物事が進んでいる時というのは、人の力を必要としないことも多い。本当に困った時、自分自身で答えが見いだせない時、助けになるのが担任なのだ。最後まで苦しんだ現代文も、12月には91点を記録し、目標得点を圧倒的に突破。過去問対策も万全。合格準備完了。そして信頼する担任と二年越しに得た「春」を喜んだ。**■合格校：立教大学（経済）・青山学院大学（経済）・学習院大学（経済）・成城大学（経済）**

東進本科基本コース（15講座）×2の高速学習で中央大学 人文社会学部 合格！

「私はみんなの様に優秀ではないけれど、この数ヶ月、目標に向かって精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。」3月、本科コース生はじめてのホームルーム。船田の第一志望は中央大学の人文社会学部だ。学習開始時点での学力と志望大学の差は偏差値で12以上。一般的に、偏差値10の差というのは合格率にすると限りなくゼロに近いとされる。船田の学習は、すべての教科において基礎レベルからのスタートとなった。東進では、本人の頑張り次第でどこまでも学習を進められる高速学習ができる。偏差値12の差を埋めるにはこの学習方法しかないが、この学習法をもってしても、本科基本コース15講座では到底間に合わない。それが偏差値12の壁なのだ。一基本の15講座を二分一それだけの学習量が絶対条件である。確認テストがクリアできず、授業のレベルを下げる苦渋の決断をしたこと。そこで流した涙。「悔しくて、情けなくて、辞めようと思うこともありました。」と船田。それでも彼女は現実を受け止め、前に進むことをやめなかった。平均睡眠時間は4時間間らず。人の2倍・3倍の努力が必要ということは2倍・3倍の時間も必要と考えたからだ。9月に入ると、過去問に充てる時間が増えたが、これまでに基礎講座の復習を怠らなかった。担任が伝えた繰り返しが当然のことになっていた。そして中央大学の試験。今までやって来た事、身につけた事を全部出し切ったという手ごたえがあった。偏差値12の差を彼女はたったの10ヶ月で埋めたのだ。努力の量から考えれば2年にも3年にも匹敵するはず。その確かな努力が実り、第一志望校に見事合格！**■合格校：中央大学（人文社会学部）**



船田 美樹

入学特典

東進でつかむ春 東進でかなえる夢

2025年 高卒生総合コース
入学金 55,000円 免除証

(税込)

貴殿の、東進衛星予備校 熊谷駅前校・上田駅前校

高卒総合コースにおける入学金を免除することを承認します。

※申込みの際に本証をご提示下さい。

有効期限：2025年3月31日

 **toshin** satellite
preparatory school
<http://www.toshinkumagaya.com>



東進衛星予備校 (株) ケイシン
代表取締役 大熊 一範